

【管理運営状況公表様式】

平成23年度 青森県営スケート場の管理運営状況

県所管課	県教育庁スポーツ健康課
指定管理者	豊産管理株式会社 代表取締役 竹谷 佳野
指定期間	平成21年4月1日～平成24年3月31日

1 管理業務の実施状況

業務区分	概要
スケートその他体育・スポーツの普及・振興に関する業務	スポーツの普及・振興を図るとともに、各世代の体力づくりやコミュニケーションの場として年間を通し広く県民に利用してもらうため、夏・冬期間を通してインラインスケート及びアイススケートに係る各種事業を実施した。
施設の維持管理業務	利用者が安全かつ快適に利用できるよう全ての施設・設備の運転、維持管理及び保守点検を適切に行うとともに施設内外の環境保全に留意して維持管理業務を実施した。 また、日常の監視記録等のデータを活用し、省エネ、ゴミ等の減量化、維持管理経費を縮減した。
自主事業の実施	県民が共に楽しみ、健康づくりができるよう、スポーツの普及・振興に加えて、県民の文化、レクリエーション、イベント等県民の交流や活動の場、情報発信基地として、年間を通して施設の有効活用を図るための事業を実施した。

2 管理施設の利用状況

利用指標	年度	計画	実績	計画対比	前年度対比
使用料収入（円）	H20	36,960,760	36,559,740	98.9%	86.9%
	H21	42,073,000	37,123,940	88.2%	101.5%
	H22	42,283,000	30,720,960	72.7%	82.8%
	H23	42,494,000	40,076,450	94.3%	130.4%
一般利用者数（人） （インラインスケート及びアイススケート）	H20	70,400	73,528	104.4%	104.5%
	H21	70,750	71,648	101.3%	97.4%
	H22	71,100	67,613	95.1%	94.4%
	H23	71,450	68,860	96.4%	101.8%
<p>【増減理由】 利用促進に向けた取組を積極的に行い、一般利用者が増加している。 （平成22度はインフルエンザによる教室の中止や東日本大震災による施設点検等での臨時休業により使用料収入が大幅に減となっている。）</p>					

3 評価結果

評価項目	指定管理者 自己評価	県所管課	
		評価	コメント
①サービスの維持・向上に向けた取組みが適切に行われているか。	A	A	有資格者を多数配置するとともに、年1回利用者に対し集中的にアンケートを実施し、利用者のニーズ・満足度等を調査するなど、さらなるサービスの向上に努めている。
②利用促進に向けた取組みが適切に行われているか。	A	A	積極的に自主事業を展開するとともに、ホームページ、ラジオ、新聞広告等の活用、地域への情報提供を行い、利用促進を図っている。
③施設、設備及び備品の維持管理及び修繕が適切に行われているか。	A	A	日常点検及び定期点検等を適切に実施し、利用者の安全性確保及び施設の良好な機能保持に努めている。また、備品の総点検を実施する等備品管理についても適正になされている。
④緊急時の対応・安全管理などの危機管理が適切に行われているか。	A	A	緊急時の対応体制が確立されている他、AED講習会の全職員受講やヘルメット等安全用具の無料貸出、繁忙期における看護師の常駐化等危機管理体制が確立されている。
⑤指定管理料が適正に執行されているか。	A	A	適正に執行されているが、使用料金収入が目標額に達していない。経費削減については、節電、節水の徹底をしている。
⑥成果目標達成のための努力が行われ、成果が上がっているか	A	B	様々な広報媒体を用いて、施設及びイベント、スケート教室等のPRを行い、成果目標達成のための努力をしているが、東日本大震災の影響もあり、目標値には届かなかった。
⑦個人情報の保護に対する体制の構築・取組みを行っているか	A	A	個人情報保護のための職員研修を行うとともに、受付に個人情報保護について掲示する等取組が行われている。
総合評価	A	A	成果目標については目標値に届かなかったものの、運営管理については適正に行われており、様々な媒体を利用した広報活動の実施及びスケート教室の開催により利用者数を増加させる等、優れた実績をあげている。

○評価基準

- A (優) : 適正であり、優れた実績をあげている
- B (良) : 適正である
- C (可) : 概ね適正であるが、一部改善を要する
- D (不可) : 改善や更なる取組が必要